



赤磐市議会だより

平成25年3月議会 第32号



3月議会のあらし	2P
委員会のうごき	5P
一般質問	8P
第3期赤磐市議会議員・各委員会構成	14P

市議会の会議録がインターネットでも閲覧できます。ご利用ください。

アドレス <http://www.kaigiroku.net/kensaku/akaiwa/akaiwa.html> (※赤磐市のホームページからもアクセスできます)

3月議会のあらまし

議案審議

3月定例会を、2月8日から2月28日まで、21日間の会期で開催した。議案46件を可決、請願1件を不採択、議員発議の議案2件を可決した。また、人事案件2件を審議した。

条例改正

吉井浄化センターにおける合併浄化槽汚泥の処理に関する条例

問 なぜ改正するのか。また、処理手数料を100リッター当たり840円とした根拠は何か。

答 域内の合併浄化槽汚泥処理について、公費負担の公平性を確保するために処理手数料を賦課することとした。処理手数料は和気・赤磐し尿処理組合の浄化槽汚泥処理分担当と同額としたことで、市内全域での処理料が統一される。

24年度一般会計補正予算

問 民生費の配食サービス委託料135万6000円について、全体で何件か。また、事業者はど

答 のように決めているのか。24年12月現在で216人であり、去年より40人多い。事業者には1人

暮らし家庭への配食だけではなく、利用者の安否確認等も契約の条件になっており、それらについても審査して事業者を決定している。

問 衛生費の減額理由は。 **答** 施工監理業務等の入札残により784万7000円減額、コミュニティハウス建設予定地を2筆購入予定だったものが1筆になったことにより44万1000円減額、同じくコミュニティハウスの車庫支障移転が測量・鑑定結果により44万1000円減額となった。

問 新規就農総合支援事業補助金の内容説明を。 **答** 新規就農者の確保と定着を図るために24年度から国が進めている事業

で、新規就農者を支援する青年就農給付金事業と、新規就農者を雇用した農業法人等を支援する農の雇用事業がある。青年就農給付金事業については準備型と経営開始型があり、今回経営開始型の交付対象に該当すると思われる農業者が新たに9人いることから補正計上を行った。

問 商工費の工事請負費について、英国庭園駐車場予定地の地権者と協議が成立しなかった理由は。 **答** 農業を続けていきたという強い意向を持っており、交渉を重ねたが意向を変えることができなかった。十分調整が付かない状態で予算計上したことについては、地権者との交渉の見込みにつ

25年度当初予算

一般会計

問 市長は英国庭園をどのようにしたいのか。 **答** 市にとって重要な観点

で大変甘い形になったので、今後反省し十分煮詰めた上で事業を進めていきたいと思う。

光資源だと思っている。庭園の中の充実を図り、駐車場についても整備をしていきたい。また、公園についても土地の買い増しをしてでも面積を広げ、観光施設として強化をしたいと思っている。

問 民生費のノーマライゼーション推進地域統合ケア事業とは何か。 **答** 在宅の高齢者・障害者・母子・児童といった人を対象として、地域住民の生活に密着した利用しやすい施設で地域住民の参加と利用者の相互の

ふれあいを生かした効果的な統合ケアを促進する事業であり、具体的には平成19年7月から高齢者デイサービス施設に親子デイサービスを併設して実施している。年間に延べ2000人を超える親子の利用がある。

問 CAPワークショップ事業委託料の内容説明

の参加と利用者の相互の

を。

答 安心こども基金からの補助により実施している児童虐待防止事業の1つであり、子どもへの暴力防止プログラムを利用して教育関係の指導者および保護者に対して参加型学習会を行い、問題解決法を学ぶものである。

問 診療所費の4億288万4000円の内容説明を。

答 新診療所建設に関する施工監理委託業務として545万9000円、工事請負費として3億1500万円、備品購入費としてエックス線CT装置等の購入費用8242万5000円である。

問 衛生費の生ごみ処理機の容器購入費70万円について、本年度の予定数はいくらか。また、買い替え時に使えるのか。

答 見込みでは25基程度を予定している。また、使えるのは1回のみである。

問 観光振興事業補助金

1842万7000円について、どのような事業をやるのか。

答 市の観光振興に資する事業に対して補助金を交付しており、25年度は花火大会・あかいわ祭り・これ里ワインフェスト・城山公園まつり・周匝納涼まつり・城山さくらまつり・城山公園の周辺整備事業に加え、新規事業として熊山英国庭園祭りおよび瀬戸内芸術祭とタイアップしたあかいわART RALLYを計画している。

問 住宅費について、市営住宅の解体等が計上されていらないがなぜか。

答 25年度でまだ入居等をしている状況にあり、取り壊しを実施できる棟が現在のところ無いために予算化をしていない。取り壊し等ができる状況になれば補正予算等を考える。

問 住宅団地の長寿命化計画策定委託料として300万円の計上があるが、

老朽化住宅の閉鎖と長寿命化による住宅の補強をどのように計画し、いつできるのか。

答 赤磐市公営住宅ストック総合活用計画を長寿命化計画へ移行する必要があるになったため予算計上した。本計画は国の制度に合わせて現行計画の見直しを行うもので、市営住宅の現状と合わせて基本的方向性および今後の活用方針・建て替え・改善・用途廃止・維持管理方針を策定するものである。25年度中に策定する。

問 ふれあい公園の指定管理導入について、市民の不利にはならないのか。

答 指定管理者による運営は利用者の利便性の向上を第一の目的と考えており、現在の利用者に対する障が生じないよう、該当委員会の意見を聞き、仕様書等に適切な運営管理条件を盛り込むとともに、指定された事業者と密接な調整を図りながら進め

ていきたいと考えている。

問 連携事業推進委託料について、シーガルズの支援のためという説明があったが、その支援の詳細とこれからの計画についてどう考えているのか。

答 シーガルズとの連携協定に基づき、協定契約金として岡山シーガルズチームバスへの広告協賛と市のホームページや広報にチームの写真等を使用する肖像権料等を支払うものとなっている。支援の内容については、山陽ふれあい公園総合体育館を市民の利用に支障を生じさせない範囲で使用してもらっている。次に、岡山シーガルズ支援自販機の設置推進を行う。また、各課の事業において積極的にシーガルズと協力して事業展開をすることにより、相互のイメージアップを図る。これらを通じ、赤磐市における地域活力の創出やスポーツを通じた人づくり、まちづくりを全国にPRしていきたいと思っている。

問 教育振興費が小学校は250万円、そして中学校は1000万円近く削減になっている。毎年削られているように思うが、教師が必要な物を購入できないという状況にはなっていないのか。

答 限られた教育予算の範囲内で、学校現場において効果的な管理運営等をお願いしているのが現状である。今後にも必要に応じ教育課題については柔軟な対応をし、教育現場に支障を来さないよう予算措置をしていく。

介護保険 特別会計

問 今後の介護保険特別会計の見通しは。

答 合併以来高齢者数の増加に伴い介護認定者数も増え続けており、過去5年間の決算の状況からも保険給付費は毎年3・2%〜7・4%程度の上昇を続けている。今後も団塊の世代が75歳を超える15年後位までは認定者数・保険給付費共に増加を続

けると考えており、12・5%を負担する市の一般会計繰り出し金も増え続けるものと考えている。

水道事業会計

問 現在の漏水率は何か。漏水率をゼロに近づける努力をすべきではないか。

答 23年度では87・51%の有収水量であったので、12・49%が漏水等による無収水量である。限りなくゼロに近づけていきたいと思っている。

市立赤磐市民病院 事業会計予算

問 25年12月をめどに入院患者の受け入れを制限することだが、現在の入院患者への対応はどうするのか。

答 引き続き入院が必要な患者については、病状とどういった病院に入院したいかということを確認した上で医師が適切に判断し、転院をしてもらうことになる。

委員会条例の一部改正を可決

今回赤磐市議会では、委員会条例の条文中の委員定数等を改正する条例を発議し、可決した。

議会基本条例の一部改正を可決

今回赤磐市議会では、議会基本条例の条文中の「政務調査費」を「政務活動費」に改正する条例を発議し、可決した。



次のとおり同意・適任とした。

教育委員会委員

山本 賢昌 (町苅田) 任期 平成25年5月20日～平成29年5月19日

人権擁護委員

政田 町子 (西軽部) 任期 平成25年7月1日～平成28年6月30日

反対討論

議第34号 平成25年度一般会計予算 (2人)

・市民病院存続、診療所化反対の意思表示が多数の市民よりされている中、また合併協定書を無視した市長の強行突破策は到底理解ができない。市民と対話を重ね、市民のための政策を展開されるよう強く要望する。よって、予算に反対する。

・当初予算で診療所の予算の採決を迫るべきでなく、選挙の結果を見て判断すべきではないか。今の時点でこの予算を出すべきではないので反対する。

議第35号 平成25年度赤磐市国民健康保険特別会計予算 (1人)

市民から国保税引き上げ反対の強い要望がありながら、強行に引き上げた。もっと努力すべきではなかったか。以前に比べ国保会計は一層厳しいものになってきているからこそ、基金や一般会計から繰り入れをし、市民が払いやすいよう努力すべきである。よって、予算に反対する。

請願

請願第1号 年金2.5%の削減中止を求める請願

〔不採択〕

〔賛成討論〕

40年間払って支給される標準の年金は月7万円弱であり、これが毎年0.9%ずつ、3年で2.5%下がることは、最低限度の生活もままならない金額ではないか。これ以上国民の所得を奪うことは中止するように国に声を上げていくことが、市民から負託を受けた議会として行うことだと思っておりますので請願に賛成する。

平成25年3月第1回赤磐市議会定例会審議結果 (賛否の分かれた議案のみ掲載しています)

議案番号	案 件	議決結果	治徳 義明	原田 素代	金谷 文則	森川 勸治	行本 恭庸	川手 辰夫	大口 浩志	松田 勲	小倉 博	北川 勝義	川澄 章子	山下 浩史	小引 美次	福木 京子	佐藤 武文	岡崎 達義	下山 哲司	実盛 祥五	樺野 志郎	海野 雅之	山田 秀士	小田百合子	
議第34号	平成25年度赤磐市一般会計予算	可決	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	●	○	●	●	○	○	○	○	●	○	○	○	—
議第35号	平成25年度赤磐市国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	—
請願第1号	年金2.5%の削減中止を求める請願	不採択	●	○	●	●	●	●	●	●	●	○	○	●	●	○	●	●	●	○	●	●	●	●	—
発議第2号	赤磐市議会基本条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	—

○ = 賛成 ● = 不賛成

※小田百合子議長は地方自治法第116条第2項の規定により議決に加わるできません。

総務文教 常任委員会

2月20日に総務文教常任委員会を行った。
議案9件について審査した。

条例改正

市議会政務調査費の
交付に関する条例

問 あやふやな面があり、範囲を広げたということが。

答 その他の活動が加わり、第6条に新たに要請陳情各種会議への参加に要する経費が認められることか。

た。具体的な活動は様々である。

市バス運行に 関する条例

問 バスカードはどのような対応になるのか。

答 バスカードは使用できない。料金を払って乗ってもらうことになる。

25年度 一般会計 当初予算

児学級が6人から9人になる。1学級の基準が8人なので2学級となる。自閉症・情緒障害児学級は2人で、新学年になっても2人である。

24年度 一般会計 補正予算

問 被災児童生徒就学支援等臨時特例基金事業補助金の説明を。

答 昨年度茨城県から被災により赤磐市に移住した幼稚園児1人、小学生1人の保育料、学費を補助するための補助金が県から入るものである。

問 教育費の修繕料について、支援学級の増設とのことだが、支援学級の人数について詳しく説明を。

答 現在、知的障害児学級と自閉症・情緒障害児学級の2学級となっており、知的障害

答 アンケートの意見をもとに運行時間の変更や目的地を追加するなどして25年度は実行していく。

問 防犯灯設置工事について、地区の防犯灯のLED化の推奨はどう考えているのか。

答 25年4月1

日からLED化する防犯灯については、灯具交換の補助金を6000円から1万円に上げた。この補助制度を利用して推奨を図っていきたい。

問 防災計画書修正委託料の説明を。

答 東日本大震災を受け南海トラフを起因とする地震の被害想定の見直しをしている。被害想定等が出たら風水害とあわせて修正し印刷する費用を計上している。

問 公民館で放課後子ども教室があるがその説明を。

答 放課後や週末等で学



山陽ふれあい公園のプール

校の空き教室を活用して子どもたちの居場所を設け、地域の人々と交流してもらい体験活動や学びの機会を提供する事業である。25年度から山陽公民館でも取り組んでもらう予定で、年間大体20回を予定している。

問 工事請負費の中央公民館エレベーター前防災区画設置工事の説明を。

答 建築基準法の改正により現在あるエレベーターの前にシャッターを付けて炎と煙を防ぐ施設を設置するものである。

問 山陽ふれあい公園のプール、体育館の使用状

況を教えてほしい。
答 体育館、トレーニングルームについてはシニア層の使用があり若干増加している。プールについては昨年とほぼ同程度利用されている。平日の利用者を増やすために、月2回を基準に水中健康教室などを行っている。

消防救急デジタル 無線システム 建設工事請負契約の締結

問 デジタル無線は県下で統一する話から、この落札業者がほとんどの他自治体の工事も請負しているのか。

答 岡山・倉敷・玉野は工事が終わっている。業者の決定についてはそれぞれの消防本部が独自に入札を行い、違う業者で決定している。同じ周波数内での運用となるので、会社が変わっても統一できる。

厚生 常任委員会

2月21日に厚生常任委員会を行った。
議案14件、請願1件について審査した。

24年度 補正予算

一般会計

問 高齢者福祉費の事業用備品、センサー50台分とあるが、希望者を募って設置するのか。有料か無料か。また、どこに通報が行くのか。



人感センサーのイメージ

答 小型の人感センサー
入院収益が減っている理由は何か。
答 4月から9月までの患者の動向をみて推計している。入院は267人増だが、患者1人の1日当たり収入が当初予

市立赤磐市民病院 事業会計

問 年間の患者数が増加している。外来収益は増えているが、

であり、トイレ等に設置し、人が通ったら感知をする。感知がなければ民間の受信センサーに情報が行き、民間の受信センサーから安否確認の電話が協力員に入る。本人の経費は無料である。

25年度 当初予算

一般会計

算と比べて1315円減になっているため減っている。外来は2627人増で、1日当たり収入は当初予算と比べて1596円減になっているが、人数増が多いため増額になっている。

問 地域密着型サービス拠点等施設整備費交付金について、前例もあるがどうか。代表者はいますか。
答 代表者の経験はないが、看護師やケアマネージャー等の協力者ができたので応募してきた。代表者の住所は県外であるが配偶者の親が赤坂地域

にいて行き来をしている。事業計画の段階であり、借り入れができない時は役員が個人貸付をするということなのでまかなえるのではないかと判断している。

問 実際事業がスタートするのはいつか。

答 26年の2月中旬に工事が完成しスタッフが全部そろって介護保険の事業所申請をしたら4月1日には指定できる。

問 診療所建設について、事業が動き出すのはまだ先か。

答 現在、設計を行っている。設備等についてもどうするか固めているところである。設計図が出るとこないか工事費がいくらかかるかが出てこないか、建築予算の執行は設計が出来てからになる。

問 常勤の医者が3人いるが大丈夫か。診療科はどうなるのか。

答 常勤医師には引き続きをお願いしている。科目も現状の科はお願いしていきたいと思っている。医師確保は全力で

行っていきたい。
問 看護師の数は何人になるのか。

答 看護師12人、準看護師1人で13人、訪問看護に看護師5人を予定している。

問 環境衛生費の測量設計委託料について、小水力発電に対する設計委託料となっているが、スマートタウン構想がらみ

のものか。今後、小水力発電を市に広げる意向があるのか。

答 県の補助金要綱がまだできていないので、その動向を見ながら、市内において安定的な発電技

術として小水力発電の導入の可能性を調査することを目的としている。調査対象は上下水道施設を考えている。平成25年度に調査箇所を協議し決定する。場合によっては実証実験まで進めていきたいと考えている。

国民健康保険 特別会計

問 赤磐市の医療費抑制に対する取り組みはどうなっているのか。

答 検診率の向上としてクレアチニンを検査項目に追加する。保険証の送付時にジェネリックのパ



ジェネリックパンフレット

ンフレットを同封している。保健指導等についても重複受診や投薬など含めて考えていく。

産業建設 常任委員会

2月22日に産業建設常任委員会を行った。
議案27件について審査した。

条例改正

**吉井浄化センター
における合併浄化
槽汚泥の処理に関
する条例**

問 なぜ10月1日施行なのか。

答 昨年の8月頃に供用開始区域内で未接続の人が多くいることが判明し、



吉井浄化センター

問 市道の認定について、どこを認定するのか。また今までの所有者は誰だったのか。

答 市道と市道をつなぐ歩道橋が市道認定されていないなかったため、今回認定をお願いするものである。所有者は赤磐市である。

市道路線の認定・ 廃止・変更

下水道料金の方が安いというのを早急にPRするため、昨年の9月頃から合併浄化槽を設置している人に説明を行った。その時期から1年間は猶予すべきであろうということで10月1日施行とした。

24年度 一般会計 補正予算

問 地方債補正の災害復旧事業について、1億5600万円から7720万円への減とのことだが、この主な理由は何か。

答 速報値を元にした総事業費を元に歳入を計上したが、実際に現場を精査し工法等を検討した結果に加え、財源が入ってこないものについては全て減額したため、当初より非常に大幅な減少となった。

問 農林水産業費について、イノシシとシカの捕獲頭数はそれぞれ何頭の見込みか。

答 当初はイノシシについては1400頭であったが、今回の補正では1

700頭に増やしている。シカについても当初210頭であったが、今回330頭に増やしている。捕獲頭数の増加分および県からの補助金が1か月延長されたため、今回増額補正をした。

問 去年のイノシシ捕獲頭数は1000頭だが、なぜここまで増えたのか。

答 本年度からイノシシ・シカについては猟期が延長された関係で捕獲頭数も増えるの見込んでいる。

問 土木費の美作岡山道路負担金の減額の理由は。

答 当初岡山県から聞いていた負担金は1500万円であったが、実績では1073万1000円になったと通知があった。この原因としては、高規格道路に対する国の予算の付加が非常に悪かったためであると県から聞いている。

25年度 当初予算 一般会計

一般会計

問 広域農道整備事業負担金について、あとのどのくらいかかるのか。

答 事業自体は26年度完了を目指しているが、用地買収等の関係で進捗が遅れており、27年度に繰越をする予定であると聞いている。

問 商工費の土地購入費1880万円について、内容説明を。

答 開発に伴いユー・エ



整備のすすむ広域農道

ス・エス、ユー・エス物流、ホリカワ運送それぞれの敷地内にある公共用地の面積に増減を生じた。ユー・エス・エスは400㎡、ホリカワ運送は1600㎡公共用地が増えるため、市が事業者から合計2000㎡購入し、ユー・エス物流は公共用地が2000㎡減るため、事業者が市から2000㎡購入する。事業者が市から購入する土地の代金については、財産収入として歳出と同額の1880万円を予算計上している。

水道事業会計

問 受水費について、広域水道企業団と岡山市からそれぞれ受水しているが、単価はいくらか。

答 広域水道企業団からの受水費は基本料が34円、使用料が47円である。岡山市からの受水費は225円である。

一般質問

市の考えを問う



11人の議員が登壇し市の考えをたどしました。

一般質問のページは質問した議員本人の原稿に基づいています。

問

災害復旧で体力の無い地域はどうするのか

答

地区と相談しながら進めたい



金谷文則議員

問 昨年夏の災害で、高齢化の進んだ地区では、いつまた同じような災害が繰り返されるか不安を感じている。地域の財政力の弱い過疎地域では、災害現場を自力で治すだけの余力や体力が無い。

答 明らかに災害が繰り返されそうな場所であってもなかなか手が付けられない。災害が起きるまで手が付けられないとするのではなく、過疎地域を見捨てない、積極的な赤磐市独自の施策を行って欲しいがどうか。

答 赤磐市の中山間地域は高齢化も過疎化も進んでおり、今回の災害でも非常な痛手を受けている。災害復旧工事は原形復旧が原則だが、これから災害が助長されそうな場所を含め、地元の区長等と協議の上、必要と思

われる個所については、赤磐市単独でも事業実施して行きたい。
通学路の危険個所と一般道での対策について

問 「公立小通学路危険個所9割で対策」の新聞記事から、赤磐市の対策はどうなっているか。また、一般道においても児童・生徒や住民にとって危険な個所は多くあると思うが、その把握と対策はどうか。

答 小学校から上がつてきている危険個所は46カ所で、33カ所は安全対策を実施。一般道の危険個所はあるが、定期的なパトロールを職員で



石相分館活動(ゴミ拾い競技大会記念)

実施し、発見と予防に努めている。
山陽地域では、シルバー人材センターにお願いし、パトロールを強化。25年度、赤坂地域でも同様に取り組む。
問 公民館の地区分館活動は、地域にとって大切なものだと思うが、必要性をどう思うか。
答 役割は重要だと理解しており、引き続き分館活動を支援していきたい。

表紙のひとこと

新しい議会がスタート

赤磐市議会議員選挙が3月24日に行われました。このたびの選挙から議員の定数を「4人減」とし、定数18人での選挙でした。そして、4月17日から新しい市議会議員の任期がスタートしました。

14・15ページに議会の新しい構成を掲載していますので、あわせてご覧ください。

問 放課後教室の学生 ボランティア補助金の内容は

答 子どもの安心安全の 居場所作りの活動である



川手辰夫議員

室といったら算数と国語ぐらいかと思うが、もっと多彩な事をしているのか。

答 放課後子ども教室は放課後や週末等に公民館や学校の空き教室を活用して子ども達の安全・安心な活動拠点、居場所を設け、地域の人々の参加を得て学習活動や体験活動の機会を提供することにより、子ども達が地域社会の中で心豊かで健康に育まれる環境づくりに推進するものである。

問 小学校児童に対して放課後教室を計画し、学生ボランティアに対し交通費程度は支給するといったが、どのようなことをするのか聞く。また、全児童が放課後教室を受けるわけではないと思うので、集団下校あるいはバス下校等はどう対処するのか。また、放課後教

現在、赤坂東軽部地区で冒険遊びなどの自然体験、熊山公民館で習字・硬筆教室や自然体験、吉井公民館では自然体験や伝統文化の伝承活動を、土曜日や日曜日を中心に活動している。平成25年からは、山陽公民館で休日を利用して自然体験や



クラブ活動をしている子ども

工作などの体験学習、山陽東小学校で空き教室を活用して週1回程度の学習支援を中心とした教室を実施する予定となっている。山陽東小学校での教室の運営にあたっては、子ども達の健全育成に情熱を持つ地域の人々の参加を得て実施する事になったが、大学生ボランティアにも協力を呼びかけ、市外から来る大学生については大学から教室までのバス代実費程度を旅費に予算計上している。また、下校については教室の終了時刻を最終下校時刻に合わせて計画している。同じ方向に帰る児童はまとまって帰るよう声をかける。

問 大型補正予算の 対応を早急に

答 緊急経済対策事業で 有効に取り組む



松田 勲議員

下市下橋は、耐震化工事が終了。2月から渋滞緩和と危険個所の改善として、5車線化の拡幅工事にかかり25年度に完了予定。

問 今年度の国の大型補正予算では、予算がなくて保留したり、見直しを迫られたりしているところを中心に早急に取り組むべきではないか。

答 例えば、新下市橋など主要な橋やトンネル、庁舎など主な施設、また学校校舎の耐震化、通学路の歩道整備や安全対策、下市下橋付近等の事故多発地点の道路整備、防犯灯のLED化等進めていくべきではないか。

赤磐医師会病院前の

定してほしい、時間をもう少しずらしてもらえないかという声をもらう。特に女性は、式の時間帯に合わせて大変苦勞している。アンケートを取るなどして、もう少し考慮すべきではないか。

答 成人式は、県外に出ている対象者でも帰省しやすいことを考慮し、成人の日の前日の日曜日に開催をしている。今後は成人式の様子を広報紙に掲載する際、今年度の成人式についてもお知らせしていく。時間については、実行委員会等で聞いた中で検討していく。

問 成人式の日を早く決定し、伝えるべきでは

成人式の日を早く決



改修が期待される桜が丘中央緑道

問 岩田地区商業ゾーン誘致は

答 できるだけ早く実現できるように努力する



議員 五盛祥実

振興地域の指定の除外等、関係法令による制約がかかることから、開発用地とすることができない状況にある。

しかし、市のまちづくり推進プランにおいて、市民生活および地域経済の両面から、赤磐市が発展していく上で非常に重要な地域として位置づけているため、数々の厳しい条件をクリアしなければいけないが、関係法令との整合を図り実現に向けて県と協議を行っている。河本地区の市街化区域内の農地についても、ほぼ地権者の同意ができ、正式に土地の区画整理事業がスタートできるような状況になってきている。

問 平成21年2月13日の山陽新聞に、河本・岩田地区開発という、赤磐市のまちづくりを進展させるニューズが掲載されたが、市長は岩田地区のまちづくりをどのように実行しようとしているのか。

答 県道岡山吉井線と市道岩田下市線に囲まれた岩田地域の土地利用については、まとまった広がりを持つ農地において開発行為を行う際には農業



岩田地区

問 農政局と協議はしたのか。

答 農政局長とも話をしているが、県との協議の中で諸条件をクリアした後、農政局との協議をする予定である。

問 災害時の初動マニュアルの検証が必要では

答 社協と協議できる体制の確立を予定



議員 原田素代

るように指示している。

メガソーラー施設の経緯は

問 鳴り物入りの売電価格は、早速42円から30円台後半に下げられた。政策の場当たりのな欠点が露出した。今回の売電収入は20年間で、概算10億円とみられるが、市の事業としてすすめるメリットがあるのではないのか。

答 初期費用、撤去費用、電気技術者等の負担が大きく、市が行うリスクを考慮した結果市が事業主体となることは好ましくない。メリットは、賃借料と固定資産税で約2億2000万円の収入と、草刈り等の維持管理費用が不要となることである。

問 昨年7月の水害時に、災害対策本部ができていながら、ボランティアセンターの設置についての検討がされていなかった問題について、今後の防災対策に生きるように、検証すべきではないのか。

答 日頃からの訓練もなく、当日は夜のことであり、社協との連絡がつかなかった。検証は十分や



24年7月の水害現場

問 事業者に地元業者は入らないのか。

答 応募の5社には地元業者とのジョイントの提案はなかったが、決定事業者は市内の事業所へ発注するとしている。

問 スマートタウン構想のパイロット地域に指定された以上、「地域自然エネルギー基本条例」の策定、「環境アドバイザー制度」の導入をするべきである。

答 県内自治体ではまだどこにもなく、必要性は検討したい。現在、産官学の連携で研究しており、25年度には市民の参加も予定している。

問 軽費高齢者住宅の建設を

答 まちづくり推進プランのなかで考えている



福木京子議員

境整備に向けた有効な整備方針を検討してもらおう。よう県に要望している。協議の場は現在のところ考えていない。

山陽団地にお店の再開を

問 国民年金で入れる軽費高齢者住宅の建設が強く望まれている。県は、数年後に耐用年数が切れる県営住宅のエレベーター付き高層化を考えている。山陽団地の再生を進めていくためにも県・市、町内会・住民で協議する場を設けるべきかどうか。

答 県営住宅の建て替えでは、セーフティネット機能を確保しつつ、住環境整備に向けた有効な整備方針を検討してもらおう。よう県に要望している。協議の場は現在のところ考えていない。

問 ショッピングが無くなって12〜13年になり、中心地でのお店の再開が強く望まれている。土地を持っていない不動産業者と交渉して、ショッピングの再開や軽費老人ホームなどができるような環境整備をすべきかどうか。

答 現在、山陽団地は急速な少子高齢化が進んでおり、市のまちづくり推進プランでも、若者と高齢者の住み替え促進など団地の再生施策を掲げている。コンビニ等の誘致については、総合的に取

地産地消等農業の振興を

り組む必要があると考えている。

問 担い手の育成、地産地消および食の安全についての取り組みは。市の特色を生かした農産物の価格保証、所得補償の状況は。新規就農者に対する市独自の支援は考えていないのか。

答 担い手育成は、関係機関との連携で是里地域において取り組んでいる。地産地消は、学校給食に使用するよう取り組んでいる。価格保証や新規就農者の支援は国・県の制度で対応していく。



青空市場

問 捕獲後の野生鳥獣の処理や食肉の活用は

答 サポートを前向きに考える



治徳義明議員

答 ①水稲・麦・大豆の被害認定は約1060万円（平成25年1月現在）であり、この他認定に満たない被害も積み上げると大きな数字になる。②短期的には、防護柵の設置による農地への侵入防止と、有害鳥獣捕獲による個体数の削減に努める。長期的には、鳥獣を

問 野生鳥獣の生息分布の拡大や生息数の急激な増加に伴い、鳥獣による農業被害が深刻化・広域化すると共に人身被害も発生するなど、農業を始めたとして住民の暮らしが脅かされる状況にある。そして、過疎化や高齢化の進展と相まって、耕作放棄や集落の崩壊などに影響を及ぼすほど問題が深刻化している。そこで以下の2点について尋ねる①農作物に対する被害状況は。②対策の基本的目標は。

答 直営で処理施設を整備する予定はない。地域の中で処理施設等の取り組みがあれば、市として予算面も含めサポートを前向きに考える。

問 朝夕の散歩コースや県営住宅の近くなど住宅

街の近くにイノシシが出没している。人的被害が出る前に対策が必要と考えるが。

空き家対策について

問 今後、少子高齢化・人口減少時代に入り、一層空き家率が高くなっていく。全てが危険な空き家や廃屋になるわけではないが、大きな問題になってくる。積極的に「空き家等適正管理条例」を制定すべきでは。答 中・長期的には条例制定も検討する。



捕獲されたイノシシ

問 市民病院の変更許可申請は どんな内容か

答 病床を平成26年3月31日をもって 廃止するもの



川澄章子議員

廃止するというものである。提出日は平成24年12月13日であり、厚生常任委員会にて報告後提出した。

また、何度も言っているが現行どおり赤磐市に引き継いだ。その後の社会情勢の変化の中で、病院としての維持が難しくなり、赤磐市の医療水準を落とさないよう医療再編を行い、民間病院や開業医との協力と連携により、市民の医療に対するニーズについて十分配慮することができると判断し診療所化の方針を出したもので、変更には当たらないと考えている。

しみはやはり出かけることだと思う。本庁周辺でイベントがあっても行けない人のために、本庁に向けての市民バスを一日一往復便でも出せないか検討を。また見直しの結果報告を。

答 財政と財源の問題を含めて、市民のニーズを合わせたような形で地域公共交通会議において見直しは随時していく。

今回の見直しで吉井地域はデマンド化、赤坂地域はルート変更、熊山地域はルート変更や熊山駅への乗り入れなどのために現在入っている。

国保税の納期回数を なぜ増やせないのか

問 市民の負担感軽減を。徴収率は上がらない。

各地区から本庁へのルート便の検討を

問 高齢者の楽

市内の交通網の整備を

問 教職員の非正規割合が 高すぎるのではないか

答 正規職員の配置を 県へ強く要望していく



樺野志郎議員

んどん非正規割合が増えている。新聞に「正規教職員増で教育を立て直せ。教員を増やすということが数合わせだけに終わってはいけない。岡山は全国的にみて正規の教職員割合が低く、非正規が多すぎると聞いた。それが教育の劣化をもたらしている」と言う投書もある。

問 過去4年間、赤磐市教職員の非正規割合の流れはどうだったのか。

答 教員の非正規割合は小学校では本年度は11%、中学校では15%となっており、全国平均の8・8%と比べると割合が高くなっている。

問 引き続き県に正規教職員の配置を要望していきたいと考えている。小学校も中学校もど

い。教員の配置がもらえるのであれば市としては積極的に受け入れていきたい。

問 我々が、教員の加配を増やすように主張した場合、県から非正規職員の加配が来るケースが多いのか。それが必ずしも悪いということではない。しかし世間では「教育の荒廃を防ぐには教員が安心して教育に取り組めるように正規化を図ることが根本的解決策である」と言われている。

答 問題が多い学校では正規職員を増やせないか。校長であれば当然正規職員を配置して欲しいと思う。県教育委員会へ強く要望していきたい。



学校の教室

問 新ごみ処理施設の進捗状況は

答 平成26年3月竣工に向けて
工事を進めている



北川勝義議員

問 備作高校の跡地利用で県知事との話はどうなったのか。

答 知事と1月9日に話をした。知事からできるだけ協力したいとの話があった。有利な条件での譲渡をお願いしている。

問 市民病院を核として市全体の医療体制で①市民病院の存続は②医療過疎の吉井地区の医療整備を行うべきかどうか。

答 ①存続するつもりはない②吉井地域の診療所の場所は、様々なことがあわせてできるような場所が良いと考えている。

問 ごみの処理施設の進捗状況で①現在の状況は②焼却するときに出る熱エネルギー等の利用は③処理場の残地に市民ホールを建設してはどうか。

答 ①建築・土木工事を実施中で、平成26年3月竣工に向けて工事を進めている②施設内での利用や地域に還元できる施設として足湯を計画している③建設地の残地には、地域住民が集える多目的広場等を計画している。

問 仁堀出張所の廃止で①出張所がなくなると困るが②仁美地区の村づくり活動に助成金を出しては③農協と行政が両輪で頑張るのも1つの方法と



工事が進む新ごみ処理施設（津崎地区）

思うがどうか。

答 ①地域での役割があるので、すぐに廃止は考えていない②行政として当然支援を行う③地域の人と話し合いをしたい。

問 砂川・こぶ川・滝山川の災害復旧、改修はどのようになっているのか。

答 災害個所で応急仮工事が必要などころは既に対応し、本復旧も一部を除き発注済み。砂川・こぶ川の改修計画は下市上橋から正崎橋上流まで測量業務は終了。こぶ川は砂川の概略設計の中で改修計画を作成する。

問 大型補正はいつごろ内示があるのか。

答 内示の時期は3月上旬から中旬ごろになる。

※ このほか森川勸治議員より一般質問がありましたが、本人の意向により原稿が提出されませんでした。

議会を傍聴しませんか!!

本会議、各委員会は一般に公開され、どなたでも自由に傍聴することができます。市政の動きや議員活動を知るためにもぜひ傍聴してください（本会議：定員30人、各委員会：定員10人）（※ ルールを守った傍聴をお願いします）。

また、休会中の委員会の日程については、赤磐市議会のホームページに記載しております。本会議については、インターネット上で配信を行っております。また、市役所本庁舎1階市民コーナーにもモニターを設置しておりますので、どうぞお気軽にご覧ください。



議会配信の様子



車イス用の通路（本会議場）

ご自宅のパソコン等を使ってインターネットによる本会議配信をご覧になれます。

アドレス：<http://www.city.akaiwa.lg.jp/gikai/gikai-live.html>
ぜひご利用ください。

各委員会構成

(平成25年4月24日現在)

産業建設常任委員会

役職名	議員氏名
委員長	山下浩史
副委員長	保田守
委員	小田百合子
”	岡崎達義
”	金谷文則
”	治徳義明

議会運営委員会

役職名	議員氏名
委員長	原田素代
副委員長	保田守
委員	岡崎達義
”	北川勝義
”	福木京子
”	山下浩史
”	松田勲

議会広報編集特別委員会

役職名	議員氏名
委員長	丸山明
副委員長	山下浩史
委員	岡崎達義
”	原田素代
”	保田守
”	澤健
”	光成良充

総務文教常任委員会

役職名	議員氏名
委員長	北川勝義
副委員長	松田勲
委員	下山哲司
”	澤健
”	光成良充
”	佐々木雄司

議会基本条例特別委員会

役職名	議員氏名
委員長	岡崎達義
副委員長	治徳義明
委員	福木京子
”	松田勲
”	金谷文則
”	原田素代
”	佐々木雄司

厚生常任委員会

役職名	議員氏名
委員長	福木京子
副委員長	丸山明
委員	実盛祥五
”	佐藤武文
”	行本恭庸
”	原田素代

第3期 赤磐市議会議員

議
長



18
小田 百合子

副
議
長



15
岡崎 達義



1
佐々木 雄司



2
光成 良充



3
澤 健



4
保田 守



5
丸山 明



6
治徳 義明



7
原田 素代



8
金谷 文則



9
行本 恭庸



10
松田 勲



11
北川 勝義



12
山下 浩史



13
福木 京子



14
佐藤 武文



16
下山 哲司



17
実盛 祥五

議長挨拶



議長
小田百合子

改選後の議長選挙において、再び重責を背負うこととなりました。

合併で赤磐市となり8年を経過しました。

その間には議会改革もだんだん進んで、当初26人だった議員定数が今回は18人になるなど、色々な変化もありましたが、今後は議員一同力を合わせて、赤磐市議会の安定と成熟を目指して努力していく時を迎えていると感じます。

昨年制定することが

できた議会基本条例の正しい運用をはじめ、議会のインターネット配信の更なる充実など課題が数多くある中で、赤磐市議会が市民の皆様信頼していただけられるようになるために、2年間の任期を一杯努めてまいりたいと思っております。

今後の赤磐市議会の取り組みに、皆様のご理解とご支援を心からお願い申し上げます。議長就任の挨拶とさせていただきます。

インターネットで本会議の配信と会議録がご覧になれます



本会議配信を見る方法

赤磐市のホームページを開き、「赤磐市議会」→「本会議配信」と開いていく。

会議録を見る方法

赤磐市のホームページを開き、「赤磐市議会」→「会議録検索」と開いていく。

- ※ インターネットでの本議会録画配信は、平成23年6月第3回定例会以降のものとなります。
- ※ インターネットで検索できる会議録は、平成20年3月第2回定例会以降のものとなります。
- ※ 市内の図書館（中央、赤坂、熊山、吉井）においては今までどおり冊子の会議録を閲覧できます。

編集後記

今後の紙面づくり
に当たっては、「議会だより」が、市民の皆様
様に読んでわかりやすい
ものにしようと思つた
たいと思います。

そのためには、議員
が議員としての役割を
果たしているところを
お見せできるように仕
事をして、ご報告でき
るようがんばってま
いります。

このまちの現状を把
握する中で、例えば子
育てと教育の問題、高
齢化の中での医療の問
題など、これからのこ
のまちの方向性を議論
していくことが大切だ
と考えています。

議会広報編集特別委員

- 委員長 丸山 明
- 副委員長 山下 浩史
- 委員 岡崎 達義
- 委員 原田 素代
- 委員 保田 守
- 委員 澤 健
- 委員 光成 良充

6月定例会 のお知らせ

次回6月定例会は、6月10日から6月28日まで19日間の会期で開催予定です。多くの皆様の傍聴をお待ちしております。